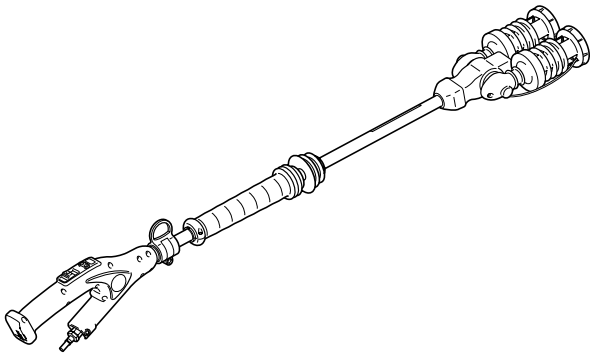
KIORITZ

共立静電噴口 ecoノズル

KSN-2/S

取 扱 説 明 書



見出し	ページ
重要なお知らせ	2
⚠安全にご使用いただくために	3～6
1．梱包部品一覧	7
2．各部の名称と機能	8
3．作業前の準備	9～11
4．使用方法	12
5．点検・整備	13～16
6．仕様	17
7．その他	17
索　引	18

⚠ 警　告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

●製品の使用目的

・この製品は、静電気を利用した付着性に優れた慣行散布用ノズルです。家庭用・農業用などの慣行散布に使用してください。目的以外に使用してはいけません。

●製品の使用者について

・この製品は取扱説明書をよく読んで充分に熟知した人が使用してください。

・取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、１６歳未満の人は製品を使用しないでください。

●取扱説明書について

・本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。

・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。

・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。

・単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。（　）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。

●製品の貸与、譲渡

・本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

●保証書

・この製品には保証書が同梱されています。

・使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。

・詳しくは保証書をお読みください。

●お問い合わせ先

・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

●おことわり

・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。

・本製品は一部部品の組立作業が必要となります。

・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

目　　次

⚠安全にご使用いただくために 3
■警告表示 3
■その他の表示 3
■シンボルマーク 3
■警告表示ラベルの貼付け位置 3
■一般的なご注意 4
■農薬使用上の留意点 5
■製品取扱い上のご注意 6
１．梱包部品一覧 7
２．各部の名称と機能 8
３．作業前の準備 9
3-1　組立 9
3-2　動噴の準備 10
3-3　噴口方向と角度の調整 11
４．使用方法 12
4-1　製品の作動と停止 12
５．点検・整備 13
5-1　点検・整備要領 13
5-2　トラブル診断表 15
5-3　長期保管（３０日以上） 16
６．仕様 17
6-1　仕様 17
6-2　ノズル吐出量 17
７．その他 17
7-1　補用品 17
索　引 18

⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで､必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合､死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合､死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合､ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は､この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

■シンボルマーク

本書ではシンボルマークを使って説明しています｡各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	作業中は、保護具を必ず着用すること。		毒性に注意すること。

■警告表示ラベルの貼付け位置

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。

・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や､はがれて紛失した場合は､販売店から新しくラベルを購入し､下図に指示してある箇所に貼り､常にラベルが確認できる状態を維持してください。



部品番号：X505-001911

⚠ 安全にご使用いただくために

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。



●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。
・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・心臓ペースメーカーを使用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・１６歳未満の人
・農薬の影響を受けやすい人
☆事故の原因となります。



●製品の改造禁止

・製品を改造してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

・点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

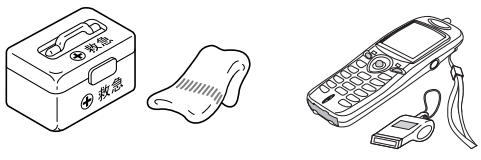
・急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所では滑りやすく危険なので、製品を使用しないでください。
・夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
☆転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・長時間の連続作業は避け、２時間を限度としてください。
☆健康障害を受ける恐れがあります。

●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



⚠ 安全にご使用いただくために

■農薬使用上の留意点

農薬取締法が改正されました。

・平成１５年３月の農薬取締法改正にともなう省令に基づく使用基準により

①使用する作物に登録のある農薬を使用すること

②使用濃度（希釈倍率）および面積あたりの使用量

③収穫前使用日数

④使用回数

の４点については農薬使用者が遵守する義務が生じています。

⚠ 警　告

●農薬の取扱い

- **農薬の取扱いにあたっては、農薬ラベルをよく読み、必ず記載されている事項を確認してください。**
- **製品ならびに農薬の知識を持たない人が、農薬を取扱ってはいけません。**

☆農薬の誤った使用は、重大な薬害事故の原因となります。



●農薬使用上の注意

- **農薬噴霧時は、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。農薬に直接触れないよう注意してください。**
- **作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。**
- **農薬が目に入らないように注意してください。**
- **誤飲、誤食に注意してください。誤って飲み込んだ場合は、吐き出し、直ちに医師の手当てを受けてください。また、農薬使用中に異常を感じたときは、直ちに医師の手当てを受けてください。**
- **また、農薬の種類によっては、**

●農薬が目に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

●かぶれを生ずる場合がありますので注意が必要です。また、かぶれやすい人は、使用を控える必要があります。

- **環境へ配慮した使用が必要です。**

●防除対象作物以外への飛散がないよう注意してください。

- **農薬は、子供の手が届かない場所に保管してください。**

●農薬は必ず使い切る

- **農薬は残らないよう調製し、必ず使い切ってください。**

☆第三者が農薬と知らずに誤って飲み込むなど、重大な薬害事故を引起こす恐れがあります。

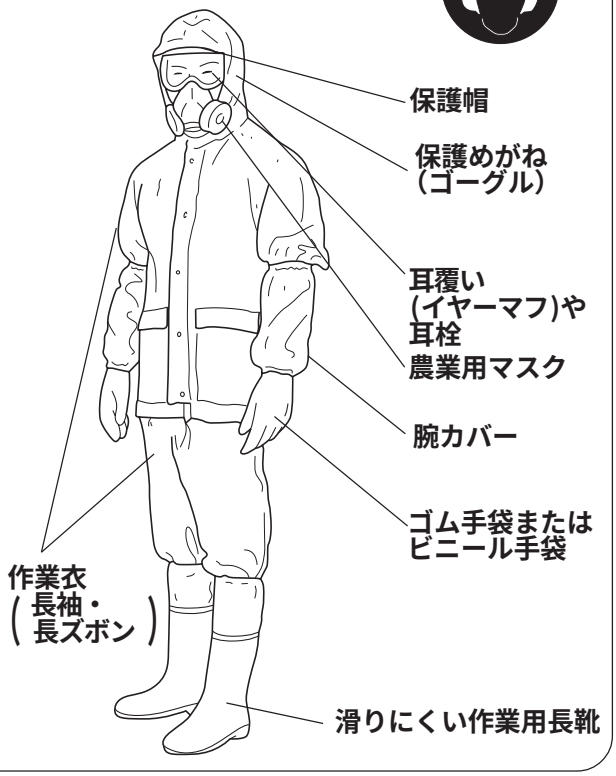


●保護具の着用

- **適切な衣類と正しい保護具を身に付けてください。**

☆農薬に直接触れたり吸引すると、薬害事故を引起す恐れがあります。





⚠ 安全にご使用いただくために

■製品取扱い上のご注意

⚠ 警　告

●製品使用時

製品を使用するときは、特に次の項目を守ってください。

- **作業場所に、作業に関係のない人や動物を近づかせない**
- **噴口を人や動物に向けない**
- **足場の悪い場所では製品を使わない**
- **噴口先端を薬液の中に入れてかくはん・洗浄するような操作は行なわない**
- **ホースのアースチェーンは、確実に接地する**
- **背負動噴に製品を接続した場合は、作業中バランスを失わないように注意する**

☆事故や傷害、故障の原因となります。



●悪条件下での作業禁止

- **夜間や視界が悪く暗い場所では、製品による噴霧作業をしてはいけません。**

☆操作ミスによる事故や薬害の恐れがあります。

- **風が強いときには噴霧作業を行なわないでください。薬液の分散を防ぐため、噴霧作業は風のない温度が安定している朝、または夕方を選んで行なってください。**

☆風に乗って予期しない方向へ農薬が飛び、薬害事故を引起す原因となります。

- **噴霧は、風下に向かって行なってください。**

☆作業者側に薬液が飛ぶ原因となります。

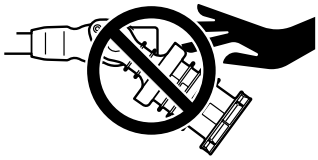


⚠ 注　意

- **製品には感電ショック防止の電気的配慮をしてありますが、作動中は噴口先端の電極部付近に直接触れないようにしてください。**

☆直接触れると感電ショックを受けることがあります。ショックそのもので傷害を負うことは通常ありませんが、人によってはおどろいて２次的な事故を引起こす恐れがあります。

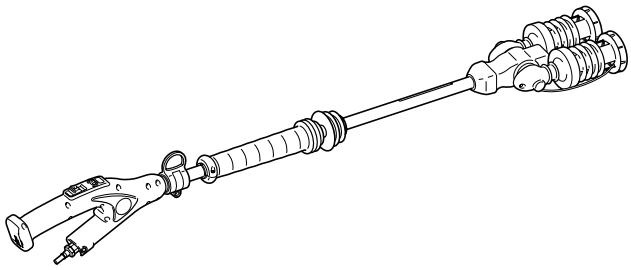




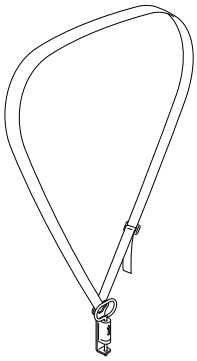
１．梱包部品一覧

・梱包箱の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
・梱包箱を解きましたら、中の部品を確認してください。
・欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

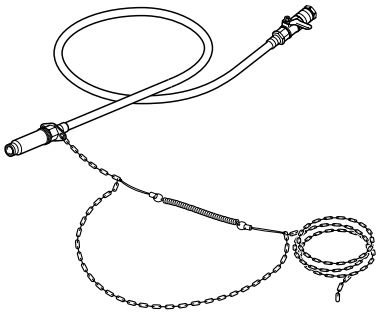
製品本体



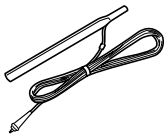
肩掛バンド



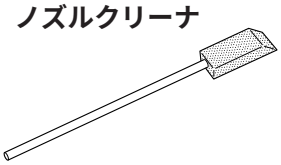
ホース、アースチェーン



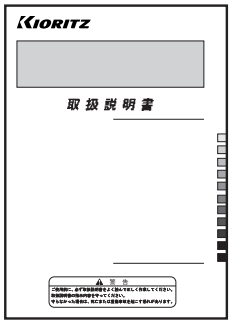
アース棒



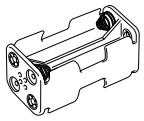
ノズルクリーナ



取扱説明書



電池ボックス



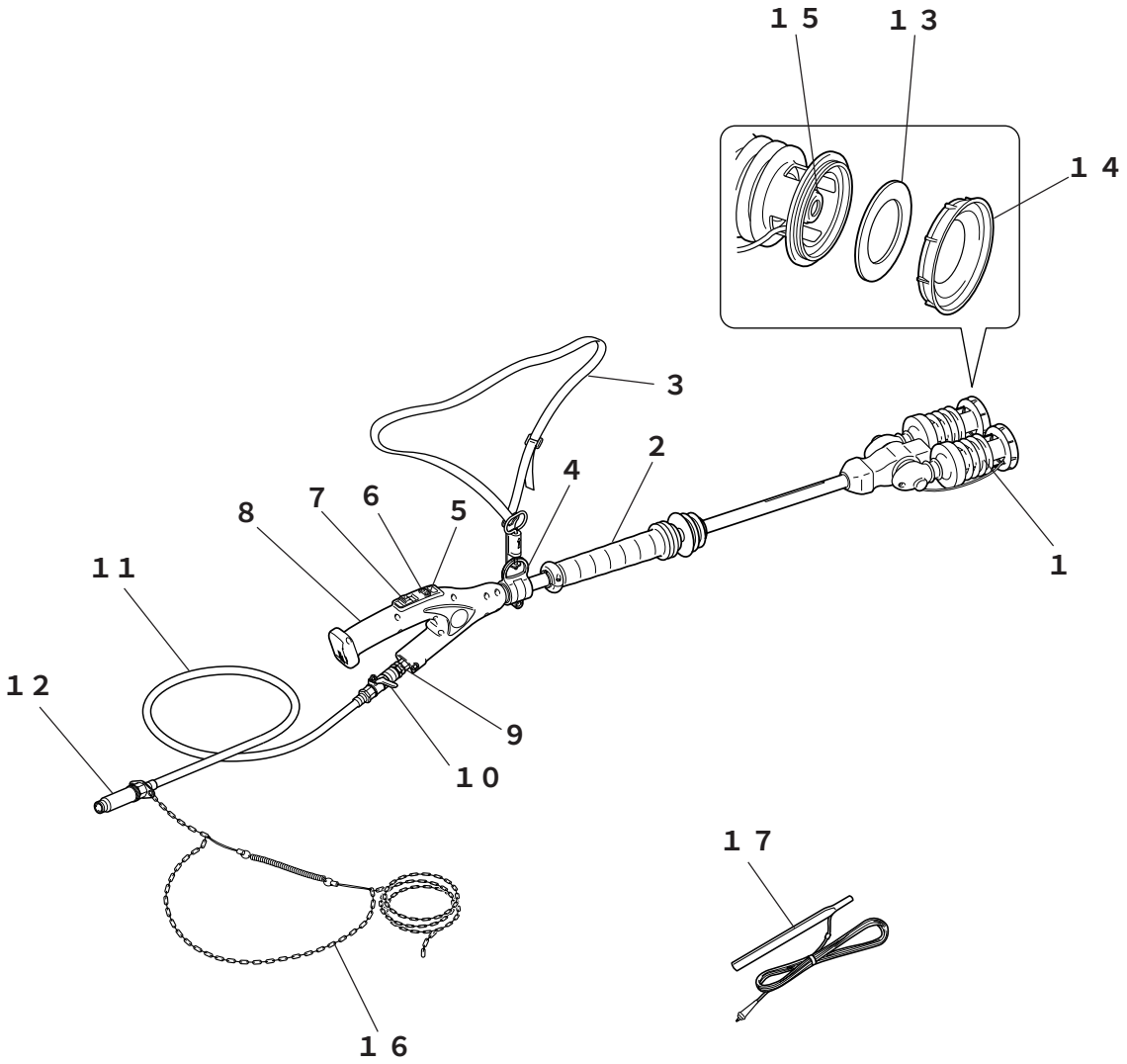
噴板Φ 1.0



保証書

保証書

２．各部の名称と機能



１．ノズルカバー	― 静電機能を組込んだ噴口部分です。
２．前グリップ	― 作業時に握って製品を保持します。前後に調整も可能です。噴口の方向を変えるときにここを回します。
３．肩掛バンド	― 作業者が肩に掛け、製品を吊下げるバンドです。
４．ハンガ	― 肩掛バンドを取付けます。
５．電池ランプ	― 電池の状態を知らせるランプです。
６．静電ランプ	― 点滅して静電機能が働いていることを知らせます。
７．電源スイッチ	― 静電機能の作動と停止を行なうスイッチです。
８．後グリップ	― 作業時に握って製品を保持します。電池ボックスの収納場所です。
９．ワンタッチカプラ	― 製品とホースをワンタッチでつなぎます。
１０．ホースコック	― 噴霧を吐出、停止するコックです。
１１．ホース	― 薬液を製品に送るホースです。
１２．ラインストレーナ	― 製品に送られる薬液のゴミを除去します。
１３．電極板	― 高電圧を発生し、噴霧粒子に静電気を帯びさせる板です。
１４．電極カバー	― 電極板を固定します。
１５．ノズル	― 薬液を噴霧します。
１６．アースチェーン	― 静電効果を確実にするため、静電気を地上に逃がします。
１７．アース棒	― 静電効果を確実にするため、静電気を地上に逃がします。

３．作業前の準備

３-１　組立

⚠ 警　告

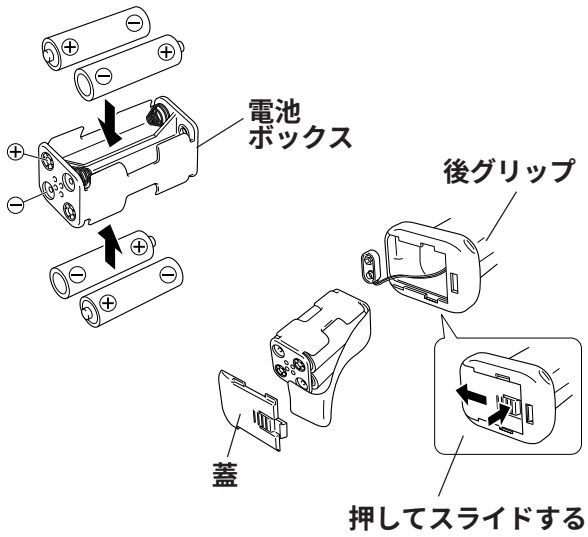
取扱説明書をよく読んで、正しく組立ててください。
☆誤って組立てた製品を使用すると、事故を起こす原因となります。
また、組付けが不確実ですと、薬液が漏れ、薬害事故の原因となります。



重　要

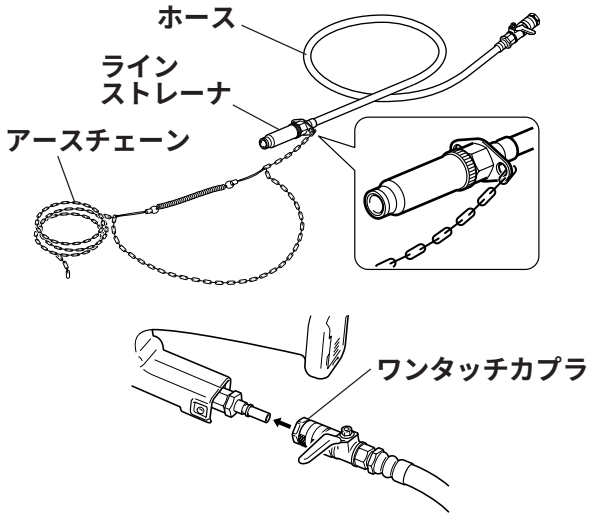
- **電源となる単三乾電池は、市販のアルカリ乾電池（1.5V）または充電式ニッケル水素乾電池（1.2V）４本を使用してください。それ以外の電池を使用しますと、製品の作動不良や故障につながります。**
- **単三乾電池４本は製品に付属しておりませんので、電気店等でお買い求めください。**
- **製品を長期（３０日以上）保管するときは、必ず乾電池を取外しておいてください。そのままにしておくと、乾電池の電極部が腐食し製品の故障につながることがあります。**
- **電池を交換する際は、必ず４本同時に交換してください。また充電式のニッケル水素乾電池の場合は、製品を使用する前（前夜）に、市販の充電器で４本とも充電してから入れてください。**
- **静電効果を確実に得るためには、必ず付属のホースを使用し、ホースに組付けたアースチェーンまたはアース棒を接地することが必要です。そうでないと静電効果を得ることはできません。**

■ 電池ボックスの入れ方



1. **付属の電池ボックスの記載に従って、向きを間違えないように乾電池を入れてください。**
2. **図のようにして、後グリップの蓋を外します。**
3. **電池ボックスをグリップに収納します。この際、製品の配線と電池ボックスが正しく接続されていることを確認してください。**
4. **電池ボックスの引出しテープをはさまないように注意して、後グリップの蓋を取付けてください。**

■ ホースの準備



1. **ホースとご使用になる動噴を接続します。ホースの接続ネジサイズはＧ１／４（旧表示ＰＦ１／４）メネジです。動噴の吐出口あるいは吐出ホースのネジサイズに合わせて必要なら接続金具等を準備してください。**
2. **ホースと製品本体は、図のようにワンタッチカプラで簡単に接続できます。**

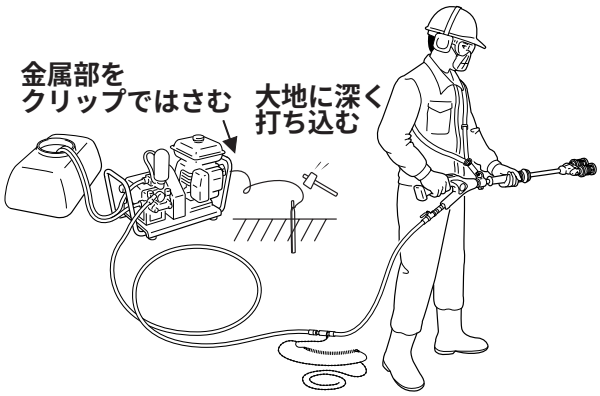
３．作業前の準備

３-２　動噴の準備

重　要

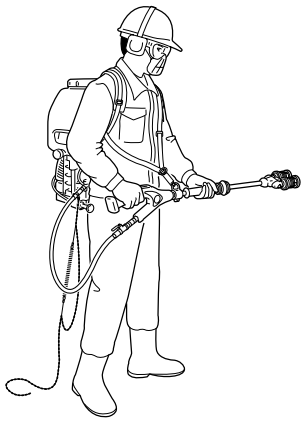
- ecoノズル は慣行散布用ノズルです。
- 本製品は、お手持ちの動噴（背負動噴、一般動噴）でご使用可能です。
  背負動噴でご利用になる場合は、圧力1.0MPa(10kgf/㎠)以上の背負動噴をご準備ください。

■ 設置型動噴への接続



1. 用意した動噴の吐出ホースに、ホースを接続します。ネジサイズの違いやオスメスの違いがある場合は、接続金具を準備のうえ確実に接続してください。
2. ワンタッチカプラで、製品本体とホースを接続してください。
3. 付属の肩掛バンドを製品のハンガに取付けます。
4. 図のように製品を保持します。このときアースチェーンまたはアース棒を必ず接地してください。
5. アース棒は動噴本体の金属部にクリップでしっかりとはさんでください。
6. 動噴の取扱いは、動噴に付属の取扱説明書に従ってください。

■ 背負動噴への接続



1. 用意した背負動噴の吐出口に、ホースを接続します。ネジサイズの違いやオスメスの違いがある場合は、接続金具を準備のうえ確実に接続してください。
2. ワンタッチカプラで、製品本体とホースを接続してください。
3. 付属の肩掛バンドを製品のハンガに取付けます。
4. 図のように製品を保持します。このときアースチェーンは必ず接地してください。
5. 背負動噴の取扱いは、背負動噴に付属の取扱説明書に従ってください。

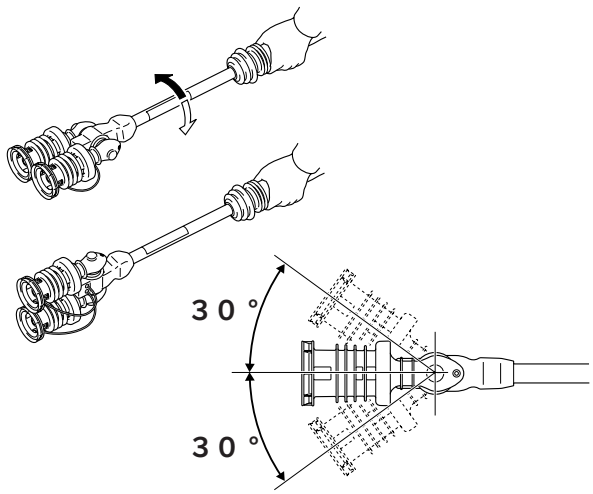
３．作業前の準備

３-３　噴口方向と角度の調整

⚠ 注　意

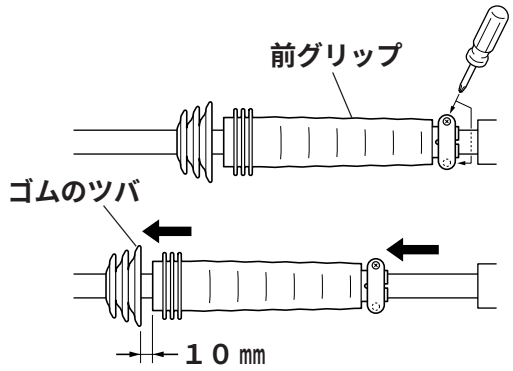
噴口の調整は、必ず電源スイッチを「停止」の位置にして行なってください。
☆製品作動中に噴口先端部分に直接触れると、感電ショックを受けることがあります。

■ 噴口方向と角度の調整



- **噴口は左右に９０°回転します。前グリップを回して散布する方向に調整してください。**
- **噴口角度は噴口別に調整することができます。水平から上下３０°以内で使用してください。**

■ 前グリップの調整



- **前グリップは、ネジをゆるめて前後方向に調整できます。前グリップを移動したときは、前グリップ先端とゴムのツバとの間を１０㎜離してください。**
- **前グリップ先端とゴムのツバが接触した状態で使用すると、静電機能が働かなくなります。**

４．使用方法

４－１　製品の作動と停止

⚠ 注　意

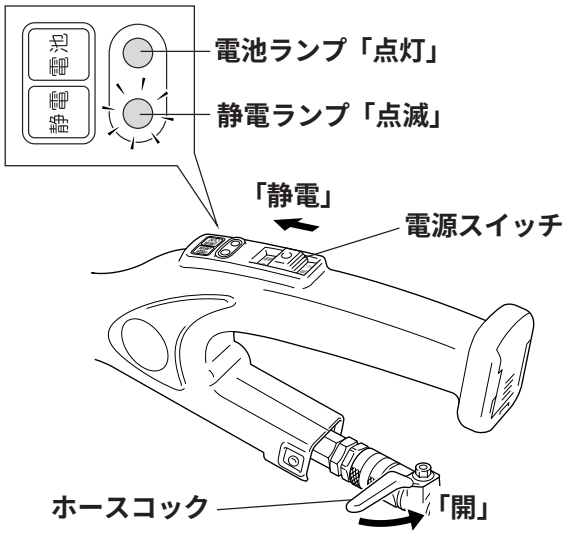
製品作動中は電極部が高電圧になっていますので、触れないよう注意してください。

☆製品作動中に電極部に直接触れると、感電ショックを受けることがあります。ショックそのもので傷害を負うことは通常ありませんが、人によってはおどろいて２次的な事故を引起こす恐れがあります。

重　要

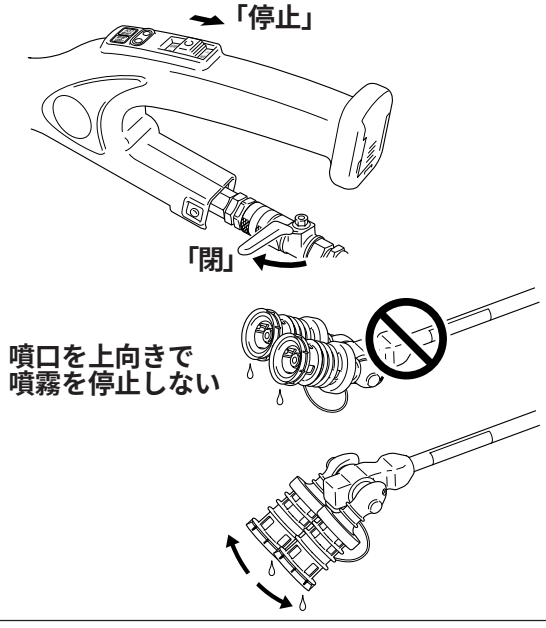
- 製品の使用圧力は、１～３ MPa（１０～３０ kgf/㎠）の範囲です。本機の故障につながる恐れがありますので、３ MPa（３０ kgf/㎠）以上の圧力では使用しないでください。また１ MPa（１０ kgf/㎠）以下では、液ダレ等で正常に機能しないことがあります。
- 薬液噴霧をするときは、対象作物より噴口先端を３０㎝以上離してください。対象作物に近すぎたり噴口内部にゴミが入り込むと、高電圧部がショートし静電機能が働かなくなることがあります。
- ノズルカバーの窓は、静電散布を効果的に行なうための空気取入口の機能を持っていますので、作業時にふさがないでください。

■ 製品の作動



1. 動噴を運転し、所定の圧力・水量であることを確認します。(動噴の操作は、動噴の取扱説明書に従ってください)
2. 電源スイッチ（スライドスイッチ）を「静電」の位置にします。このとき電池ランプが点灯、静電ランプが点滅していれば正常です。
3. ホースコックを「開」の位置にすると、噴霧が始まります。
4. 電池ランプが点灯、静電ランプが点滅しない場合は、「５－２ トラブル診断表（１５ページ)」を確認してください。

■ 製品の停止



1. ホースコックを「閉」の位置にすると、噴霧は停止します。
2. 電源スイッチを「停止」の位置にし静電機能を停止してください。電源ランプと静電ランプが消灯します。電池の消耗を避けるため、また感電を防止するため、噴霧を停止したときはできるだけ速やかに電源スイッチを切るようにしてください。
3. 噴霧を停止するときは、噴口を下向きにして停止してください。上向きで停止すると電極部分に薬液がたまり、静電機能が働かなくなる原因となります。
4. 電極部分に薬液がたまった場合は、図のように噴口を下向きにして振落としてください。

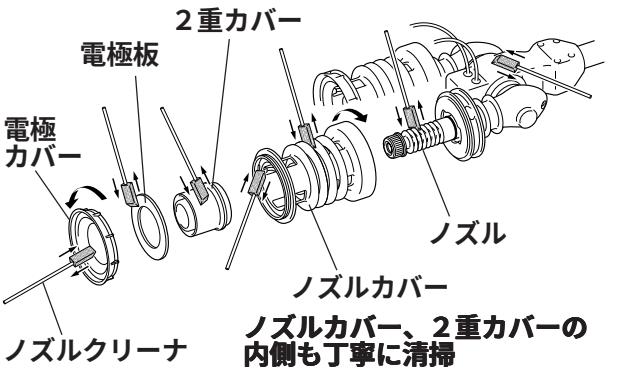
5．点検・整備

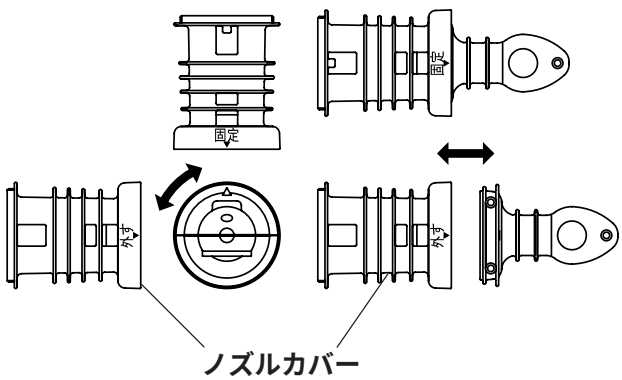
5 - 1　点検・整備要領

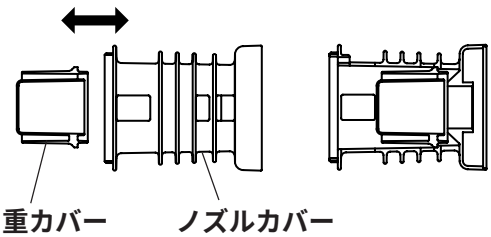
重　要

- 点検・整備を行なう前に、必ず電源スイッチを「停止」にしてください。
- 作業が終了した後は、製品をよく清掃し常に最良の状態に点検・整備しておくことが、次回の噴霧作業を順調に進めるのに最も大切なことです。
- 薬液噴霧後は、必ず清水を噴霧して製品の内部に薬液が残らないようにしてください。特に、農薬の種類を変えてご使用になるときは､後ダレ防止ゴム部にたまった薬液を充分に清水で洗ってから作業してください。
- ノズルカバー内部には電気部品が組込まれていますので、水没しての洗浄は行なわないでください。
- 噴霧作業終了後は、噴口先端を数回振って内部にたまった薬液を落とし、速やかに乾いた布などで薬液を拭取ってください。
- ノズルカバー内部に薬液が固着すると、静電機能が働かなくなることがあります。ノズルカバー内部の点検・清掃は、毎回行なってください。
- ノズルが目詰まりすると正常な噴霧ができなくなります。ノズル部の点検・清掃は、毎回行なってください。
- ノズルから液漏れがあると、電圧がリークして静電機能が働かなくなることがあります。点検／清掃／交換後のノズルは、確実にしっかりと組付けてください。

■ ノズルカバー内部の点検／清掃







・ノズルカバーから電極カバー、電極板を外し、高圧線をノズルカバーから外します。
・ノズルカバーの三角（▼）印を「外す」に合わせ、噴口部からノズルカバーを外します。
・ノズルカバー内部は２重構造になっています。
　２重カバーは中心に開いている穴に指を入れ、ノズルカバー側面に当たるように押すと簡単に外すことができます。
・付属のノズルクリーナで、電極カバー、電極板、２重カバー、ノズルカバー、ノズル、本機カバーを丁寧に清掃してください。
・清掃後、ノズルカバーに２重カバーを入れます。
　２重カバーは、ノズルカバーと平行になるよう均一に押し､“ パチッ ”と音がするまで押し込みます。
・ノズルカバーの三角（▼）印を「固定」に合わせ、噴口部にノズルカバーを取付け､高圧線を取付け穴に差込みます。
・ノズルカバーに電極板､電極カバーを取付けます。

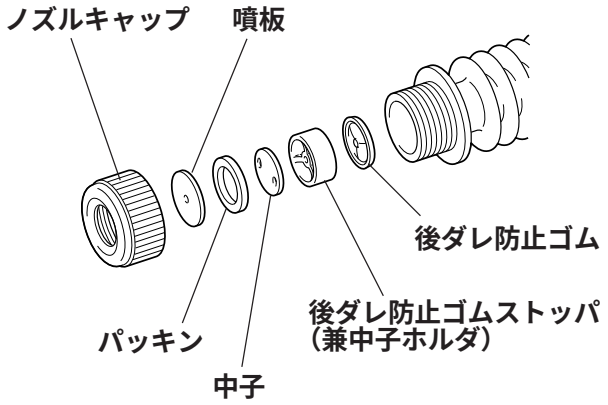
点検／清掃後の注意

・点検／清掃後は電源スイッチを「静電」にして、静電ランプが点滅し静電機能が正常に働いていることを確認してください。
・静電機能が正常に働くことを確認したら､電源スイッチは速やかに「停止」にしてください。

5．点検・整備

5 - 1　点検・整備要領 （続き）

■ ノズル部の点検／清掃／交換

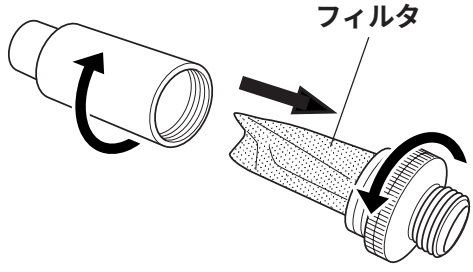


・ノズル部の点検／清掃、噴板や中子の交換をする場合は、ノズルカバーを取外した後、ノズルキャップを手で回して外せば、噴板・パッキン・中子・後ダレ防止ゴムストッパ・後ダレ防止ゴムを取出すことができます。
・噴板や中子にゴミが詰まったり薬液が固着していると、正常な噴霧を得られませんので、丁寧に清掃してください。また摩耗している場合は、交換してください。
・噴霧停止後、ノズル部から薬液がボタボタと垂れるようになったら、後ダレ防止ゴムを交換してください。
・清掃後、後ダレ防止ゴム・後ダレ防止ゴムストッパ・中子・パッキン・噴板を斜めに入らないように注意して取付け、ノズルキャップを手で回してしっかりと組付けてください。後ダレ防止ゴムを取付ける際は、向きを間違えないでください。ゴム中央部の出っ張り部が噴板側になるように取付けてください。
・セラミック製の噴板や中子を破損する恐れがありますので、工具を使って組付けないでください。

重　要

ノズル交換を行なう場合は、必ず「７－１　補用品（１７ページ）」に記載の噴板と中子の組合せで交換してください。それ以外の組合せでは、静電機能は正常に働きません。

■ ラインストレーナの点検／清掃



・ラインストレーナの点検／清掃は、図のように手で回して中のフィルタを取出します。
フィルタにゴミや薬剤が詰まっていたら、清水できれいに洗浄してください。
・フィルタにゴミが詰まったり薬液が固着していると、正常な噴霧を得られませんので、丁寧に清掃してください。
・点検／清掃後は、外したときと逆の手順でしっかりと手で組付けてください。
・パッキンを破損する恐れがありますので、工具を使って組付けないでください。

5．点検・整備

5 - 2　トラブル診断表

トラブル内容	トラブル診断	原　因	対　策
静電ランプが点滅しない（静電機能が働かない）	電池ランプが点灯しない	電池が入っていないか消耗している 回路配線の故障	新しい電池と交換 電池交換しても効果がないときは販売店へ依頼 販売店へ依頼
	電池ランプが点灯する	噴口部分の汚れ、ゴミ詰まり ノズルからの液漏れ 電極部と作物との接触 回路配線の故障 高電圧ユニットの故障 静電ランプの不良	清掃 ノズルキャップの締付け 適正圧力で散布 ３０㎝以上離して使用 販売店へ依頼 販売店へ依頼 販売店へ依頼
	電池ランプ・静電ランプの異常表示	古い電池が混ざっている	４本全て新品に交換
人体にチクチクと電気を感じる	製品の金属部分に触れたとき	アースが不完全	アースチェーン・アース棒で確実にアースする
	作物など製品以外の物に触れたとき	噴口・グリップの汚れによる漏電	噴口・グリップの清掃
薬液が噴霧されない、または正常に出ない	噴霧の異常	動噴の異常	動噴の点検／調整 動噴の修理、交換
	細かい霧にならない	動噴の圧力が低い 本製品に適当でないノズルを使用している（吐出量の大きい噴板・中子）	動噴の調整 噴板・中子を適正なものに交換
	薬液が全く出ない	ゴミ・異物による配管系統の完全な詰まり	清掃
液漏れがある	ノズル部からの液漏れ	ノズル部の緩み ノズル部の組付け不良	締付ける 再組付け
	ノズル部以外からの液漏れ	配管系統の接続不良	販売店へ依頼

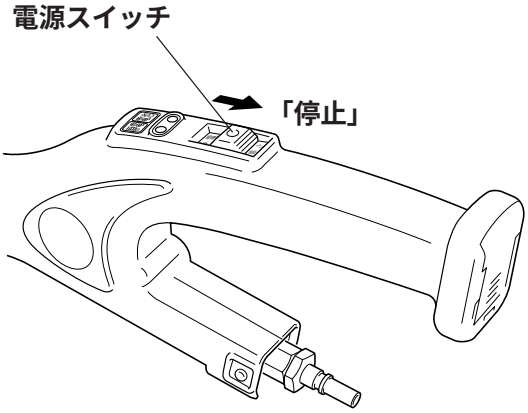
・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

５．点検・整備

５-３　長期保管(３０日以上)



噴口先端の水洗浄禁止



製品を長期間(３０日以上)にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 作業終了後の手順に従って清水を噴霧し、製品の配管内部を清掃します。
   動噴をカラ運転し製品から水が出なくなるまで噴霧することは、製品の水抜きのために有効ですが、動噴の焼き付きに充分注意してください。
2. ホースを外します。ホースは片側を下にして持ち上げ、水抜きをしてください。
3. 噴口部を数回振ってよく水を切り、製品全体は布などで清掃してください。
4. ノズル部の点検／清掃の手順に従ってノズルキャップ・噴板・中子・後ダレ防止ゴムを外し、製品を縦に振って配管内部の水抜きをしてください。水抜き後、ノズルは元のように組付けてください。
5. 後グリップの蓋を外し電池ボックスを取出して、中の乾電池４本を抜いてください。
6. カラの電池ボックスを後グリップに戻し、後グリップの蓋を元のように取付けます。乾電池は別に保管してください。

* 製品を使用する際に、別に保管した乾電池を再び使用することは避けてください。長期保管した乾電池は自然放電していることがあり、投入時には電池ランプが点灯しても作業中急激に消耗することが考えられます。

7. 保管時の電源スイッチは「停止」の位置にしてください。
8. 製品が充分乾いてから、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

●製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。

6．仕様

6 - 1　仕様

区分	項目	型式 / 単位	KSN-2/S
質　　量	（ホース除く）	kg	1.4
寸　　法	（ホース除く）		
	長さ	mm	1100
	幅	mm	155
噴　　口	ノズル数	個	２
	噴板（セラミック）	mm	Φ1.6、Φ1.0(付属)
	中子（セラミック）		２ホール
噴霧性能	使用圧力	MPa(kgf/cm²)	1.0～3.0（10～30）
	流量	L/min	2.0～6.3
	噴霧角度	度	45～60
	粒子径	μm	60～90
電　　源	乾電池（市販品）	単三	アルカリ乾電池またはニッケル水素電池、４本
	電池耐久性		連続運転時、８時間以上
印加電圧	アルカリ乾電池使用	kV	4.5
	ニッケル水素電池使用	kV	4.2

＊ この仕様は、予告なしに変更することがあります。

6 - 2　ノズル吐出量

型式	KSN-2/S	
ノズル径 / ノズル圧力	Φ１．０mm	Φ１．６mm
1.0MPa(10kgf/cm²)	2.0L/min	3.8L/min
2.0MPa(20kgf/cm²)	2.9L/min	5.2L/min
3.0MPa(30kgf/cm²)	3.6L/min	6.3L/min
拡散角度（２ホール）	45°	60°

7．その他

7 - 1　補用品

部　品　名　称	部　品　番　号	備　　考
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００００５０	Φ１．０mm
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００００６０	Φ１．２mm
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００００８０	Φ１．４mm
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００００７０	Φ１．６mm
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００００９０	Φ１．８mm
セラミック噴板	Ｋ３６２-０００１００	Φ２．０mm
セラミック中子	９１４８２５-１０６００	２ホール
後ダレ防止ゴム	Ｅ２９２-０００１４０	

・ご購入の際は製品をお買い求めの販売店にご用命ください。
・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。
・製品の仕様・性能に合わせてお選びください。ご不明な点は製品をお買い求めの販売店にご相談ください。

索　引

あ行
アースチェーン ……7,8,9
アース棒 …… 7,8,10
後ダレ防止ゴム …… 14
後ダレ防止ゴムストッパ …… 14
アルカリ乾電池 ……9
後グリップ ……8

か行
肩掛バンド ……7,8
感電ショック …… 6,12
警告表示 ……3
高電圧部 ……6
梱包部品 ……7

さ行
仕様 …… 17
シンボルマーク ……3
スライドスイッチ …… 12
静電ランプ …… 8,12

た行
長期保管 …… 16
電極カバー …… 8,13
電極板 …… 8,13
電極部 …… 6,12
点検・整備 ……4,13,14,15,16
電源スイッチ …… 8,12
電池ボックス ……8,9
電池ランプ …… 8,12
トラブル診断表 …… 15

な行
中子 …… 14
ニッケル水素乾電池 ……9
農業用マスク ……5
農薬 ……5
農薬取締法 ……5
ノズル ……8
ノズルカバー …… 8,13
ノズルキャップ …… 14
ノズルクリーナ …… 7,13
ノズル吐出量 …… 17

は行
ハンガ ……8
フィルタ …… 14
噴口角度 …… 11
噴口方向 …… 11
噴板 …… 7,14
ホース ……7,8,9
ホースコック …… 12
保護具 ……5
保証書 ……2,7
補用品 …… 17

ま行
前グリップ ……8
水抜き …… 16

や行
薬液 …… 12,13,14

ら行
ラインストレーナ …… 8,14

わ行
ワンタッチカプラ ……8,9

メ　モ

株式会社 共立

東京都青梅市末広町1-7-2　〒198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東1-2-20　〒004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東5-1-50　〒984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39　〒452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田566-159　〒701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原5-3-7　〒816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-010 59 0
X750607-050 0

0705A 0728 ES

© 2007 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。